

東京都

國學院大學 ～2009年から続く地域密着型 むらのこしサークルKOOGA～

● KOOGA (クーガ) の原点

- ・ 2008年、農林水産省の事業「田舎で働き隊！」を契機に、千葉県富津市金谷地区大沢集落で活動を開始。
- ・ 2009年、農作業支援や加工品開発に取り組むサークルとして設立。活動を通じて「大沢集落を残したい」という思いから、サークル名『むらのこし』を採用。

● 農作業手伝い－無理なく継続できる活動－

- ・ 以前は畑を借りて一貫した農作業も行っていたが、農業技術や訪問頻度の課題から、現在は地元農家の手伝いを月1～2回のペースで行うスタイルが定着。
- ・ 畑での植付けや整備、田植え・草取り・収穫などの農作業に加え、住宅補修・道路清掃・獣害対策などの環境整備も、住民と交流しながら多面的に実施。

● 地域資源を活かした商品開発と販売

- ・ 収穫したブルーベリーを使い、スムージーやアイスの試作・提供など、自然素材を活かした商品開発。
- ・ 大学の文化祭「若木祭」では、学生が調理・会計・運営を分担し、地元農産物をPRしながら商品を販売。

観光まちづくり学部の新設で、サークルの関心が高まった！



草取りって、こんなに大変！
田んぼ初心者たちが奮闘中



● 甘夏合宿－地域とつながる2日間実践プログラム－

- ・ 2月下旬～4月上旬の甘夏収穫期に、地元農家の協力のもと甘夏の収穫やシロップづくりの加工を体験。
- ・ 甘夏ジャムや甘夏サイダーの販売収益を活動費に充てる一方、加工は地元企業に委託し、地域とも連携。

● 活動による好影響－サークル間交流や地域貢献－

- ・ 住民からは、学生の柔軟なアイデアへの期待や、コロナ禍で途絶えていた交流の再開を喜ぶ声。
- ・ 同じ富津市で地域活性化に取り組む「東大むら塾」と、旧金谷小での出店やコンテスト参加を通じて交流。
- ・ サークルOB・OGには、富津市でゲストハウスを開業したり、富津市役所や林業に就職した例もあり。

● 持続可能な地域密着型サークルへの課題

大学公認サークルで活動費の援助等はあるが、東京・神奈川在住のメンバーが多く、富津市までの交通費負担やモチベーション維持が課題。

● 詳しい情報（Instagram）

鳥獣対策技術者、甘夏ジャム加工業者、地域貢献を支援する企業募集中！



収穫からOBの宿で加工まで
皆で協力！甘夏合宿



甘夏の恵み、むらの味、まち
の笑顔が集う KOOGA Cafe !



★ 概要 ★

サークル設立：2009年

メンバー：約60名（OB・OGが協力）

活動分野：援農、農産加工、地域交流

問合せ方法：Instagram「メッセージ」ボタンより